



## シリーズ第56話

## お持ちですか？お薬手帳 〜お薬手帳 活用のススメ〜



市民病院  
薬剤師 板垣千華

病院にかかったときに「今どんな薬を飲んでいますか」と聞かれ、正しく答えられず困ったことはありませんか？

「お薬手帳」とは、受診した病院の名前や日付、処方された薬の名前や量・飲み方などを記録に残しておくための大切な手帳です。

病院や薬局でお薬手帳を見せることによって、新しくかかる医療機関でも、あなたの薬の情報が正しく伝わり、同じ作用の薬の重複やよくない飲み合わせを避けることができます。また、今までの治療経過がある程度分かるので、今後の治療方針を検討する際の役に立ちます。お薬手帳を上手に活用し、薬の情報を周囲に正しく伝えることが、安心して安全な医療につな

がります。

そこで皆さんに、「お薬手帳活用のススメ」をお伝えしたいと思います。

①病院や薬局に行くときには、必ず持参しましょう。

手帳をチェックすることで、薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防ぐことができます。また、過去に副作用やアレルギーがあつた薬などについて記入しておけば、副作用の再発を予防することができます。

②ご自身の症状を医師や薬剤師に聞きたいことをメモしておきましょう。

普段から体調の変化や気になることをメモしておけば、診察時に忘れずに医師や薬剤師に相談できます。

③お薬手帳は1冊にまとめましょう。

かかっている病院・薬局ごとに手帳を分ける方がいますが、1冊にまとめておいた方が飲み合わせや重複のチェックが簡単で、見落としもありません。

④いつも飲んでいる一般用医薬品・健康食品も記載しておきましょう。

病院でもらう薬以外でも飲み合わせが悪いものや、食べ合わせの悪いものもあります。お薬手帳を利用して確認してもらいましょう。

⑤いつも携帯・いつも同じ場所に保管しましょう。

いざというときに家族の方でも分かるような場所に保管しましょう。

外出時に常に携帯するようにしていれば、旅行先で病気になる時や、災害時に避難した時、救急の時などに、あなたが飲んでいる薬を正しく伝えられます。

実際、昨年、東日本大震災では、自分がどんな薬をどれくらい飲んでいるのか分からず、病気が悪化してしまった患者さんも多くいたそうです。備えあれば憂いなしですね。

「お薬手帳」をお持ちでない方は、この機会にぜひ持つようになしてくださいね。

ただいま当院では、薬剤師大募集中です。やりがいのある職場で一緒に働きませんか？